

# 原市場聖書教会

## 週報

NO. 730

### 年間聖句

主によって 人の歩みは確かにされる。  
主はその人の道を喜ばれる。  
その人は転んでも、倒れ伏すことはない。  
主が その人の腕を支えておられるからだ。  
詩篇 37 篇 23～24 節



**2019. 3. 31**

# 主 日 礼 拝

2019年 3月31日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：若村和仁師 奏楽：本多こずえ姉 受付：関久美子姉  
パワーポイント：本多悟兄 感謝の祈り：若村めぐみ姉

賛	美	「土の器」	—	同
祈	り		司 会	者
今 月 の 賛 美		「パワー オブ ユア ラブ」	—	同
使 徒 信 条			—	同
主 の 祈 り			—	同
賛	美	聖歌338番「いともよきものを」	—	同
献	金		—	同
感 謝 の 祈 り			若村めぐみ姉	
賛	美	聖歌493番「わがとも主イエスは」	—	同
聖 書 朗 読		マタイ22章1節～14節	司 会	者
説	教	「招かれる人は多いが・・・」	若村和仁師	
黙	禱		—	同
賛	美	聖歌528番「いまだ見ぬ地」	—	同
頌	栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同
祝	禱		若村和仁師	
後	奏		奏 楽 者	
報	告		司 会 者	

●礼拝後昼食会があります。  
大人(中学生以上) 200円  
子供(小学生) 100円  
初めての方、乳幼児無料です。



# 「招かれる人は多いが・・・。」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

## マタイ22章1節～14節

- 1 イエスは彼らに対し、再びたとえをもって話された。
- 2 「天の御国は、自分の息子のために、結婚の披露宴を催した王にたとえることができます。
- 3 王は披露宴に招待した客を呼びにしもべたちを遣わしたが、彼らは来ようとしなかった。
- 4 それで再び、次のように言って別のしもべたちを遣わした。『招待した客にこう言いなさい。「私は食事を用意しました。私の雄牛や肥えた家畜を屠り、何もかも整いました。どうぞ披露宴においでください」と。』
- 5 ところが彼らは気にもかけず、ある者は自分の畑に、別の者は自分の商売に出て行き、
- 6 残りの者たちは、王のしもべたちを捕まえて侮辱し、殺してしまった。
- 7 王は怒って軍隊を送り、その人殺しどもを滅ぼして、彼らの町を焼き払った。
- 8 それから王はしもべたちに言った。『披露宴の用意はできているが、招待した人たちはふさわしくなかった。
- 9 だから大通りに行って、出会った人をみな披露宴に招きなさい。』
- 10 しもべたちは通りに出て行って、良い人でも悪い人でも出会った人をみな集めたので、披露宴は客でいっぱいになった。
- 11 王が客たちを見ようとして入って来ると、そこに婚礼の礼服を着ていない人が一人いた。
- 12 王はその人に言った。『友よ。どうして婚礼の礼服を着ないで、ここに入って来たのか。』しかし、彼は黙っていた。
- 13 そこで、王は召使いたちに言った。『この男の手足を縛って、外の暗闇に放り出せ。この男はそこで泣いて歯ぎしりすることになる。』
- 14 招かれる人は多いが、選ばれる人は少ないのです。」

# 今月の賛美

## パワー オブ ユア ラブ ＜雅歌1:4＞

Geoff Bullock 作詞  
作曲  
スリヤ佐野 一夫・田村謙次 訳詞

わがこころ — つくりかえ たまえ — あふれで  
 そのみかお — あらわした まえ — わがうち

るに めぐみ — の な か — で —  
 におられ — る 上 よ

わがよ わさ — 取り去り た まえ — ちか — らづ  
 わがお もい — みころの なかに — ひびつくり

よか え いて あなたの あい — で —

み — そばに — だきよせた — まえ

あ — あなたの — あいのな — か — わ

し — のよう — に わたしは の — ぼる 主にいなか

れ いまはばたく イエスの あい — で —

© 1992 Nightlight Music/Word Music  
 (Original Title: The Power of Your Love)

# 使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、  
三日目に死人の内よりよみがえり、  
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。  
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。  
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、  
聖徒の交わり、罪のゆるし、  
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。  
アーメン

# 主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ  
願わくは御名をあげさせたまえ  
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を  
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを  
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ  
われらを試みにあわせず 悪より救いいたしたまえ  
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり  
アーメン

# 御言葉メール紹介

★ 2019年3月28日御言葉

コリント人への手紙 第一 1章 26～31節

26 兄弟たち、自分たちの召しのことを考えてみなさい。人間的に見れば知者は多くはなく、力ある者も多くはなく、身分の高い者も多くはありません。

27 しかし神は、知恵ある者を恥じ入らせるために、この世の愚かな者を選び、強い者を恥じ入らせるために、この世の弱い者を選びました。

28 有るものを無いものとするために、この世の取るに足りない者や見下されている者、すなわち無に等しい者を神は選ばれたのです。

29 肉なる者がだれも神の御前で誇ることはないようにするためです。

30 しかし、あなたがたは神によってキリスト・イエスのうちにあります。キリストは、私たちにとって神からの知恵、すなわち、義と聖と贖いになりました。

31 「誇る者は主を誇れ」と書いてあるとおりになるためです。

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より引用。

●日本人でクリスチャンでない方は、「教会」「クリスチャン」と聞くとどういうイメージを持ちますか?と聞くと、「お金持ちの人や、賢い人たち。または、聖い人が集まっている。」というイメージを持つ方がおられます。または、その逆で、教会は「弱い人が」が集まっているところだ。というイメージの人もおられるみたいです。

しかし教会は、どちらか一方の方が集まる場所ではないのです。社会的立場の弱い人から、もちろん偉い人までが、神様の前に悔い改め、イエス様の十字架の身代わりの愛を受け入れ、罪赦された者が、集まる群れなのです。

今日の個所の26節で「召し」と出てきますが、これはどういう意味かといいますと。わかりやすく言いますと「招かれた」ということです。また別の言い方をしますと、神様に出会えたこと。教会へ導かれたこと。という意味です。「自分たちの召しのことを考えてみなさい」とは。なぜ教会へ導かれたかということをよく考えて見なさい。という意味で書かれています。この当時の教会の人々も、神様の一方的な恵みによって、取るに足りない者が、集められ、赦された存在であるにもかかわらず、それぞれ育った文化の違いなどで、裁き合ってしまう問題があったのです。そこで、あなたたちは、自分自身がどうして神様の前に、教会に、招かれたかをしっかり見つめなおしなさい。と問いかけているのです。

神様が喜ばれない事とは、神様の前で「人間が威張ること」です。また、「素直に弱さや罪を認め悔い改めないこと」です。何か立派な能力を与えられていたとしても、それを自分で得たかのように誇ることは神様は喜ばれないのです。確かに、その能力や知恵も、神様が与えてくださったものだからです。ですから、誇るならば、その能力や知恵を与えて下さった神様に感謝し、自分を誇るのではなく「神様」を誇りなさいというのです。もし、人間が「自分を誇る」ということになれば、人と自分を比べ人を裁くようになってしまいます。人を傷つける行動へとつながっていきます。今までの世の中の歴史を見ても、人が神様に対して「悔い改めと、謙虚さ」を失ったとき大きな罪を犯し悲惨な事件などが起こってきています。

自分の能力を自分で得たかのように高慢になっているものを打ち砕くために神様は、「この世の取るに足りない者、見下されている者、無に等しいもの」を選びましたのです。その人々が心からの悔い改めに導かれるように、罪を犯していないお方が、すべて背負って十字架刑にかかって下さったのです。神様の愛は、命がけの愛です。それほどまで、私たちを大切にしてくださっているのです。日々、この弱いものを選んでくださった神様に感謝し、日々命を与えて下さり、恵みを注いでくださっている神様に目を向けて感謝して歩む者でありたいです。誇る時には、天地創造主である神様を誇る者でありたいです。

原市場聖書教会  
若村和仁

# 報 告

☆聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。  
☆イエス様の復活を感謝し今年度守られた感謝を「イースター献金」として  
お献げいたしましょう。イースター献金袋をご用意しています。

## 3月の誕生日

23日 渡辺恵姉 26日 本多崇兄

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

・4月4日(木) NPO 法人あまやどり (場所:高麗聖書教会)

## 本日午後の予定

☆礼拝後、自家焙煎コーヒーと昼食をご用意しています。ご自由にお交わり下さい。

☆17時~18時 夕 拝

## 次週(4月7日<日>)

司 会:本多崇兄 聖餐式司式:若村和仁師

聖 書:マタイ22章15節~22節

説 教:「返すべきところに返す祝福」 若村和仁師

奏 楽:本多こずえ姉

讃 美:「イエスが愛したように」 今月の賛美「初めにおられた神のみことば」

聖歌292、聖歌332、聖歌508、福音賛美歌259、聖歌383

受 付:本多祐子姉 献金感謝祈祷:若村めぐみ姉

## 先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
3月24日(日)	教会学校ハレルヤキッズ	4人			
	礼 拝	4人	9人	4人	17人
	夕 礼 拝		2人	1人	3人
			※夕拝の内1名は午前礼拝も出席		
3月27日(水)	祈 禱 会		お休みでした。		

## 集会案内

4月3日(水)	祈り会	10:30~12:00
4月7日(日)	ハレルヤキッズ	9:30~10:15
	礼 拝	10:30~12:00

# 頌 栄

## 聖歌383

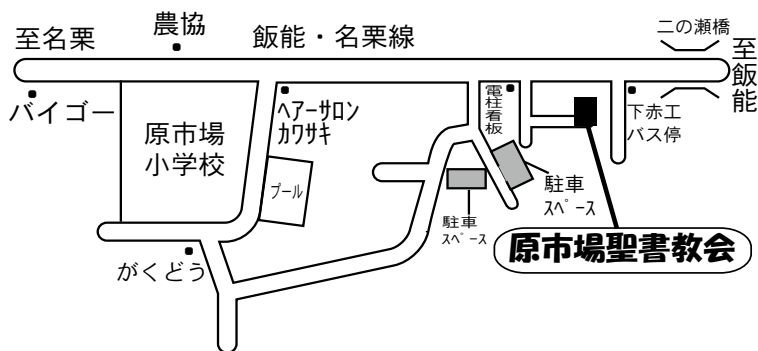
### 「ちち・みこ・みたまの」

To Father, Son, and Holy Ghost  
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE  
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ ややはやく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにーとこしえか  
わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



教会ホームページ <http://www.geocities.jp/haraichibaseisyo/> Eメール [hibawaka@aol.com](mailto:hibawaka@aol.com)

#### ■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッズ	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッズスペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



## 原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-980-6442

牧師:若村和仁